



皇女の執事は

悪魔憑き


この国ブルターニュ帝国には
とある伝説がある。




嘘か誠か、満月の夜に悪魔が
下界に降り、人間に取り憑く。

その悪魔は欲望のままに
暴れ回り、一夜のうちに数々の国を
滅ぼしたという…






ふん!!こんな伝説下らない!!
哀れな庶民の迷信でしょ



私はこの国
ブルターニュ帝国の第一皇女
アン・リ・ブルターニュ



容姿端麗、眉目秀麗!!
国民たちは私にメロメロ
まさにこの国の皇女に
ふさわしいのが私なのよ!!
オーホッホッホ!!



いかに
ハハ

うるさいわね!



お嬢様、口が悪うございます。
直されたほうがよいかと



あんなこそ、その口うるさい
お節介な性格直したほうがいいわよ!

そしてこの生意気な男は
この城の執事の一人
ルイス・カンサレン



本当に
無事でよかった...

世話好きでお節介な過保護な奴
まあ悪い奴ではないけどね...





離しなさい!!

バタ

バタ

バタ



はいはい...

アセ
アセ



ちょっと!!

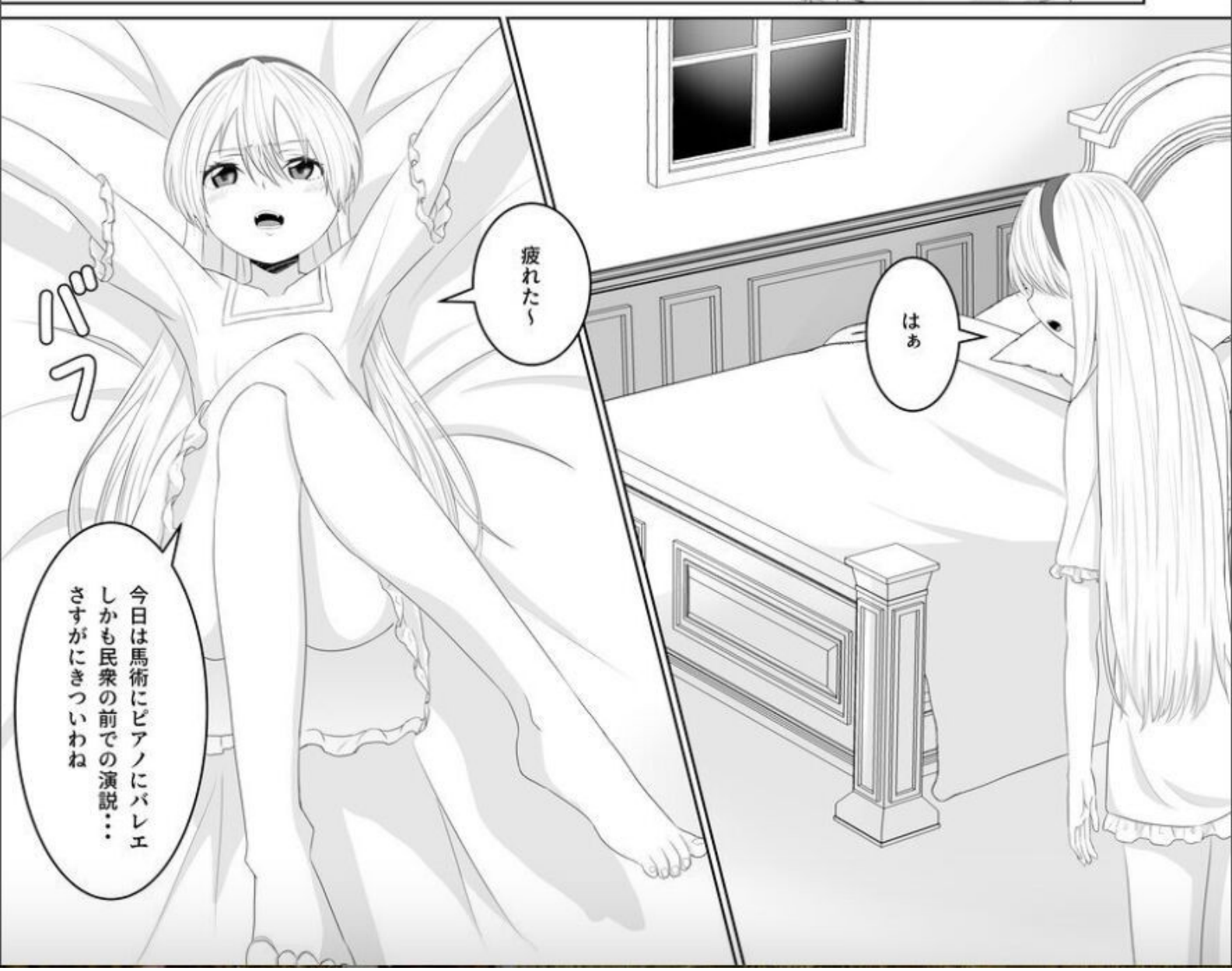
いつまで触ってるのよ!!
汚らしい!!



ええ、そうですね

ふふ、あの二人は
ほんと仲がいいわね

バタ
ガヤ
ワチャ
ガヤ
バタ



疲れた〜

はあ

今日は馬術にピアノにバレエ
しかも民衆の前での演説…
さすがにきついわね

バフ
フ



貴様がアンだな？

この声はルイス？



?

ガチャ



それにレディ、しかも皇女の部屋に
ノックもせず勝手に
入ってくるなんて何様のつもり？

そうですけど
ルイス、あなた執事の分際で
その口の聞き方はなにかしら？



!?

ぶっ
なにその顔の模様！
ださーっ！

その口調といいルイスあんた
なんか演劇でもやるつもりなの？
それとも中二病的ななにか？

これが一国の皇女か…

大層下品なやつだ

そういうのは子供の時に
終わらせときなさい

ふ
今になってこじらせてるのは
相当きついわよ

あなたルイスじゃないわね
一体誰？

うーんそうだな…

あ、あくま!!?
ほんとに言ってるの？

ああ、もちろんだ

こっちの世界の言葉を借りるとしたら
“悪魔”ってところかな

今日は満月の夜…
まさかあの伝説が…

信じられない…あれはただの伝説…
迷信だと思っていたのに…

しかし数千年ぶりに
降りてきたが随分変わったものだ

昔は小さな国が数個あった程度で
ここまで大国はなかった

もし本当なら
このプルターニユ帝国が…
私の国が…

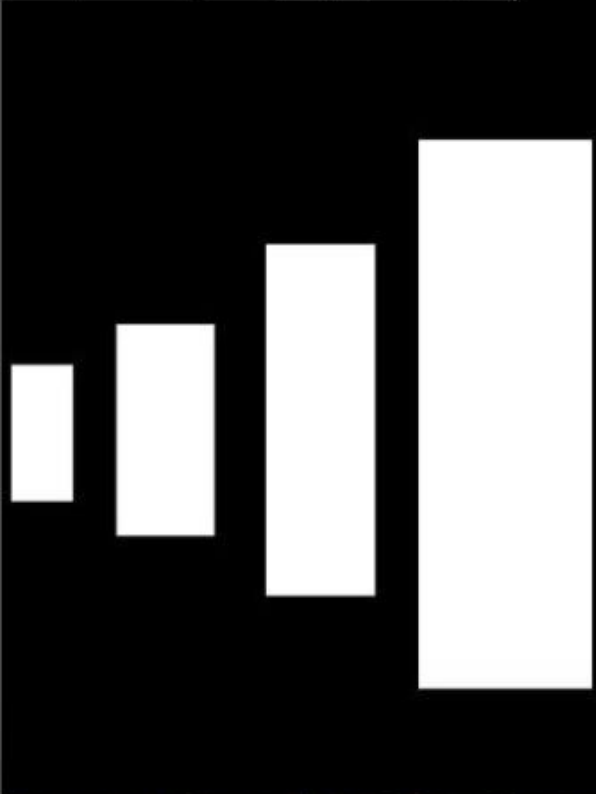
その国も俺が
滅ぼしたんだがな…

まあ安心しろ
今日はそんなことをしに
来たわけではない

退屈だったんで
ちょっと遊びに来ただけさ

やっぱり…

ひっ…





う、うそっ!!手足に枷が...
これじゃ動けない...!!

なにこれ!?

おっと



お嬢様



フウ

おはようございます



誰か助けて〜!!



うっ…これが悪魔…

ここがお城なら
近くに誰かはいるはず
助けを呼ばなきゃ…!!

この状況はまずい…

シーン...



ハハハハッ



フッ



それここは
今は一切使われていない
城の地下倉庫

依り代の記憶をたどって来たが
うってつけの場所だ...



な、なにがおかしいのよ...!!



だから中の音は外には
一切聴こえないようになっている

そんなことをしても無駄だ
俺の力でこの部屋には結界を張った





こいつ、いきなり
キスして…

私、初めてなのに…

ありえない…!!

ヤダヤダヤダヤダッ!!



そう、カッカするな

どうだ、自分の執事に
無理やりキスされる気分は

どうも何もないわよ!
不快よ不快!今すぐ辞めないと
どうなっても知らないわよ!!



ちよっといきなり何するのよ!

ふざけないで!



フッ



ふふ、どうなってもか
ただの小娘のお前ごときに何ができる？

惨めだなあ、皇女様が…
こんな姿この国の民衆が見たら失望するだろうなあ
その惨めな姿が最高にそそる

悪趣味なやつね…

あんなんか
地獄にでも落ちればいいわ



ふ、いつまでも
やかましい口だな

!?



えっ…

んっ…

こいつまた…!!

しかも今度は舌入れて…



ありえない…
ほんとにありえない…



ちょ!!何してんのよこいつ…!!

!?



絶対殺す…

こんなやつ処刑よ…!!



ゾクゾクが止まらない…



うっ…!!

ス

なにこれ、服脱がされて
身体色々触られて
嫌なはずなのに…



ひゃっ!!

んっ... やっそは...



あんた絶対許さないんだから...

トク



フッ

できるもんならな...!!



まさかこの私が...見た目ルイスのよく分からないやつに触られて気持ちよくなるわけない...

なるわけないのよ...



やっ...

おっとさつきは不快と言っていたはずなのに声がよく漏れるな気持ちよくて仕方ないか

そ、そんなわけないでしょ...!!







ちよっ……うっ……

う、そ、それだめ……



ホーンッ



ちゅ



いい顔だ……

もっと虐めてやるか……



ほんと最悪……
誰か……誰でもいいから
助けに来て……

はあ……

はあ……





抵抗したいのに…

手足が縛られて何もできない…



みっともない声出して…
はしたないお嬢様だ

しかし大分遊び甲斐があるな



や、やめ…て!! あっ…



さてそろそろ…



え…

うそでしょ…
そこは…ダメ…!!



ふっ、どうやらお嬢様は性に疎いようだな

教えてやろう
これは快感を感じた時に
出る愛液だ

パンツの上からでも分かる凄まじい愛液の量…
普通はこんな量ありえないんだがな
とんでもない淫乱女でもない限りは…なあ？

あい…えき…

うそ…私がこんな奴に胸を触られて快感を感じているの？
ありえない…絶対にありえない…!!

もうパンツに愛液が染みて
びしょびしょだな

こんなに汚して
手間のかかるお嬢様だ
仕方がない脱がせてやろう…!!

きゃっ!!

もっともここはクリトリスと言ってな
女性器の中で特に快感を感じやすい場所だ

うっ、き、気持ちいいわけないでしょ…

やっ、うっ…あっ…

どうだ、直に性器を触られてる気分はぬるぬるして気持ちいいだろ？
気持ちよくて仕方ないだろう？





えっ…



は、はあ？そんなわけないでしょ…!!!
いいから早くこんなこと辞めなさい!!

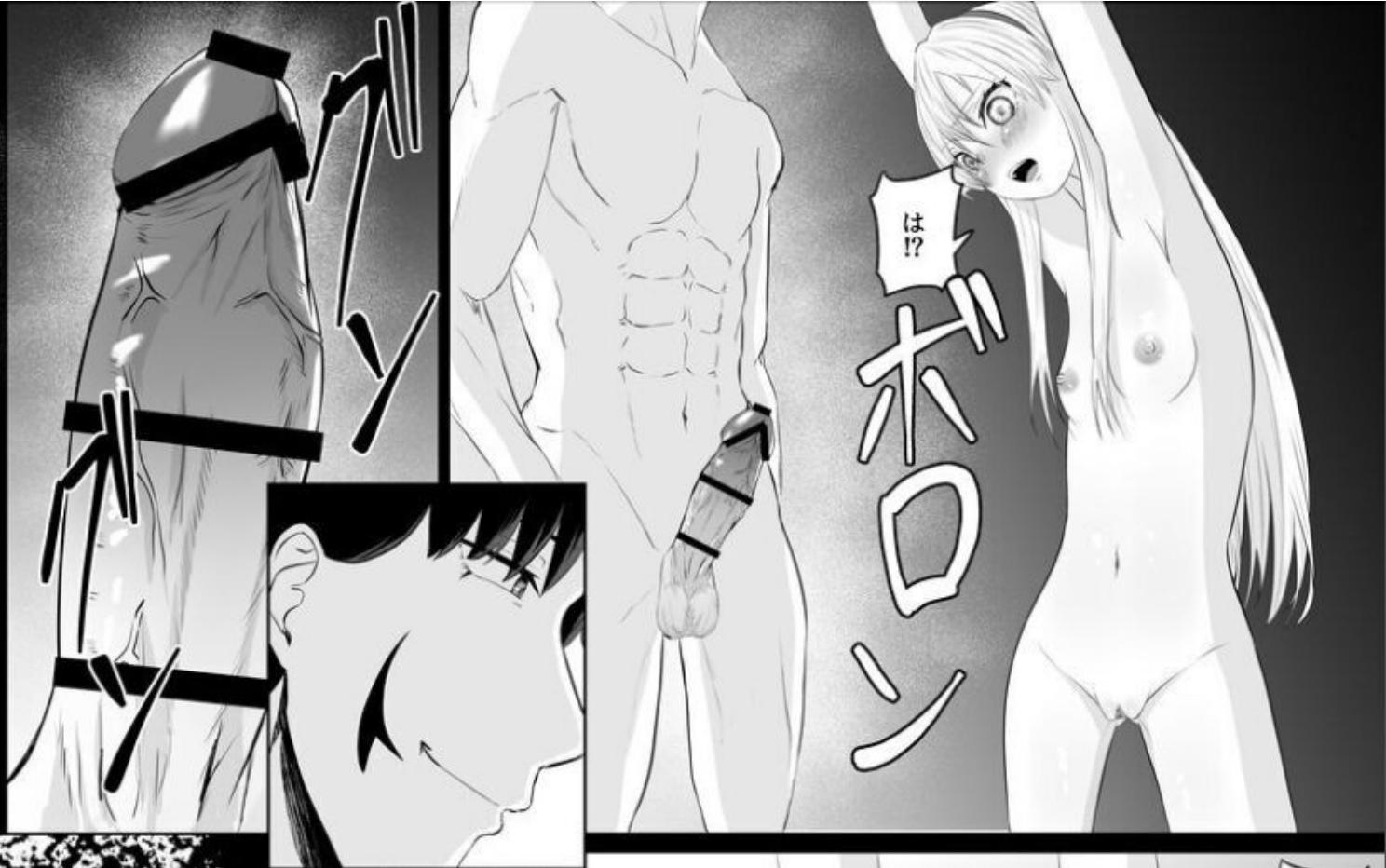
全く…素直じゃないなあお嬢様は

さゆ…

おや、どうした？
なんで触ってくれないのって
顔をしているな

まあ慌てるな
貴様には最高の快楽を
味わせてやろう





は!?

ボロン



これはな...

ではさっそく
始めるとしよう

そんなもの出して
何する気よ...!!
気持ち悪い...

やだ!!汚い!!汚らわしい...!!



ほう、これがなんなのかは
知っているようだな
だが実物を見るのは初めてか?

それにしても、皇女に汚いと言われて
このルイスという執事も可哀そうなものだ

くっするものなんだよ...!!



んっ!!

キエ



いっついやあああ!!

痛い痛い!!

やめてっ!! 抜いてっ!!



素晴らしい締めりだ...!!

誰のちんぽも
受け入れたことのない
初心な臆...!!

俺の形に拵がっていく...!!

ハハハッ!! 最高だ!!



こいつの大きすぎる...

痛い痛い...

なんという快感だ...!!

たまらん!!
これは素晴らしい名器だ...!!

搾り取られるようだ!!

内臓がえぐり取られてるみたい...

死んじゃう...
このままじゃ死んじゃう...!!

ブル
ブル

は
ず
ち
ゅ

ど
ち
ゅ

は
ず
ち
ゅ

は
ず
ち
ゅ

は
ず
ち
ゅ

は
ず
ち
ゅ

は
ず
ち
ゅ

は
ず
ち
ゅ

は
ず
ち
ゅ

は
ず
ち
ゅ



俺は悪魔だ、貴様の願いを聞き入れると思うか？ それにそんなものは奪って手に入れるさ

ほう、ここにきて泣きついてきたかだが今更そんなことをしても遅い

だからどうか…



何でもします… お金も土地も食料でもなんでも差上げます…

悪魔様…お願いします… や、やめてください…



いい顔だ…

フ…

だがそんな顔もしてられないくらいぐちゃぐちゃにしてやろう







あーっぐわーっ!!



ここまでとはな
...ふふふ上物を見つけたぞ



いったか
なんて臆圧だ...



なにこれえ…

それはイクと言ってな
相手を受け入れた証だ

イ、イク…？こんな味わったことない…
すごい快感が身体中に一気に来る…



あ、あんたを受け入れた…？私が？
ば、馬鹿なこといわないでよ…

あれだけイっておいで
まだそんな生意気な口が聞けるのか

だがこんなじゃまだ終わらせないぞ



でもダメ…
さっきので身体中がしびれて

動けない…

今なら逃げ出せる…

あれ、腕の拘束が取れた…

シュウウウ



ハア

ハア



え、今度は何…!?



貴様の愛液でペトペトに汚れてしまった
きれいにしようとするかな

苦し…

ズチン♡

カチン♡

ズチン♡

カチン♡

ヤダヤダヤダヤダツ…!!

苦し…

もっとだ、もっと!!
もっと見せてくれ!!

その苦しそうな表情…
最高だ!!

っっ♡

なに言ってるのらっ…
頭おかしいわ…!!

絶対に…絶対に…
許さないんだか…

んぐっしっ!!

らっ!!



素晴らしかったぞ

いいものを見せてもらった



げほっげほっ!!

ごほっごほっ!!

とまへ



あんたって最高に興味が悪いわね、ほんと…



やっ…!!

ま、待って、ちよ、また…!?



えっ…

そりやどうも





気持ちよくなっちゃダメなのに……
嫌なはずなのに……抗えない……

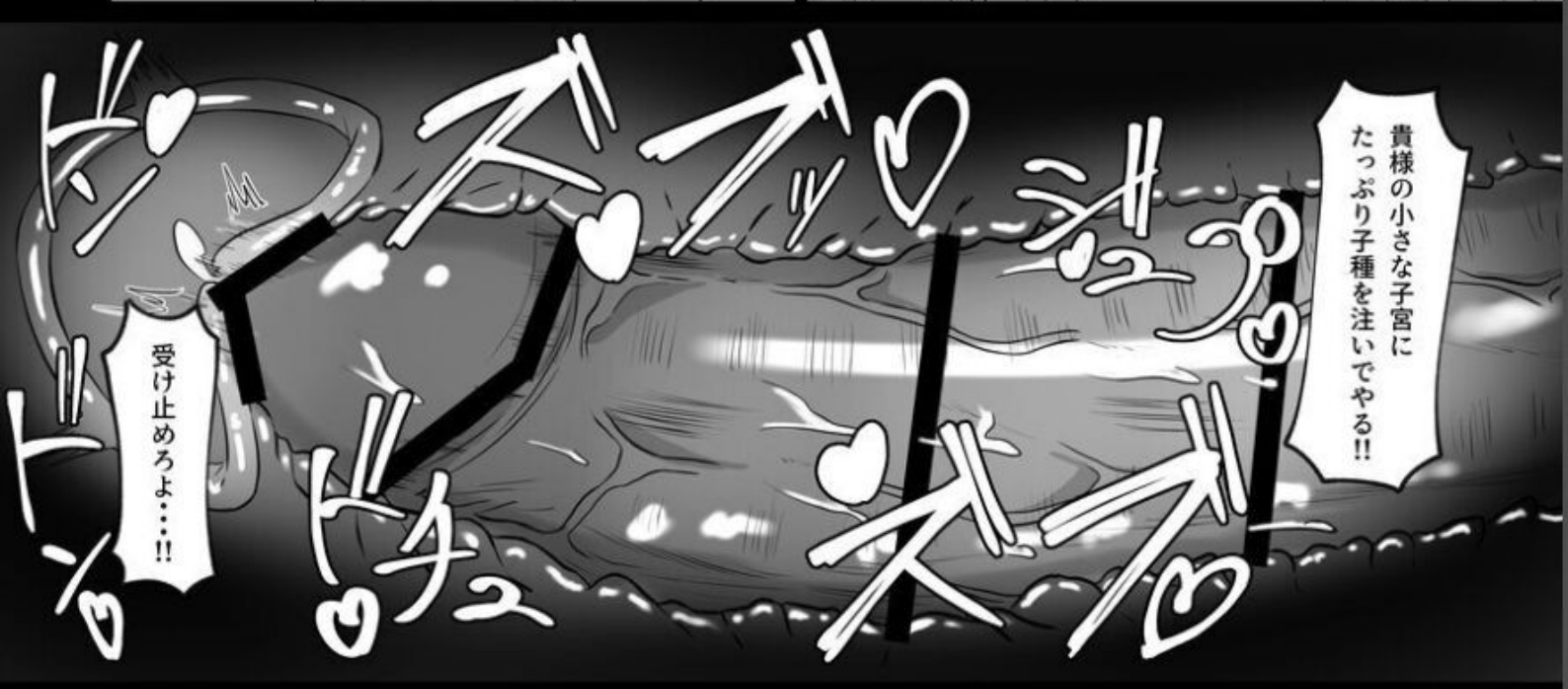


ふふ、子種を受け入れる
準備は万端だな

え、なんて言ったの？
ダメ……もう何も考えられない……



出さぞ、出さぞ…!!



貴様の小さな子宮に
たっぷり子種を注いでやる!!

受け止めろよ…!!



え、なにになに…!!?
何を出すの…??

私このままじゃ…
また…イクッ!!



びゅん
びゅん
びゅん

ど
ど
ど

ど
ど
ど

それからの記憶は
曖昧だった……

その後、私は性欲を発散するための
ただの人形のように使われた……

まさに悪魔そのものだった

でも不思議と私は恐怖を
感じていなかった……





“気持ちいい”
ただその感覚だけが
頭に残っていた...



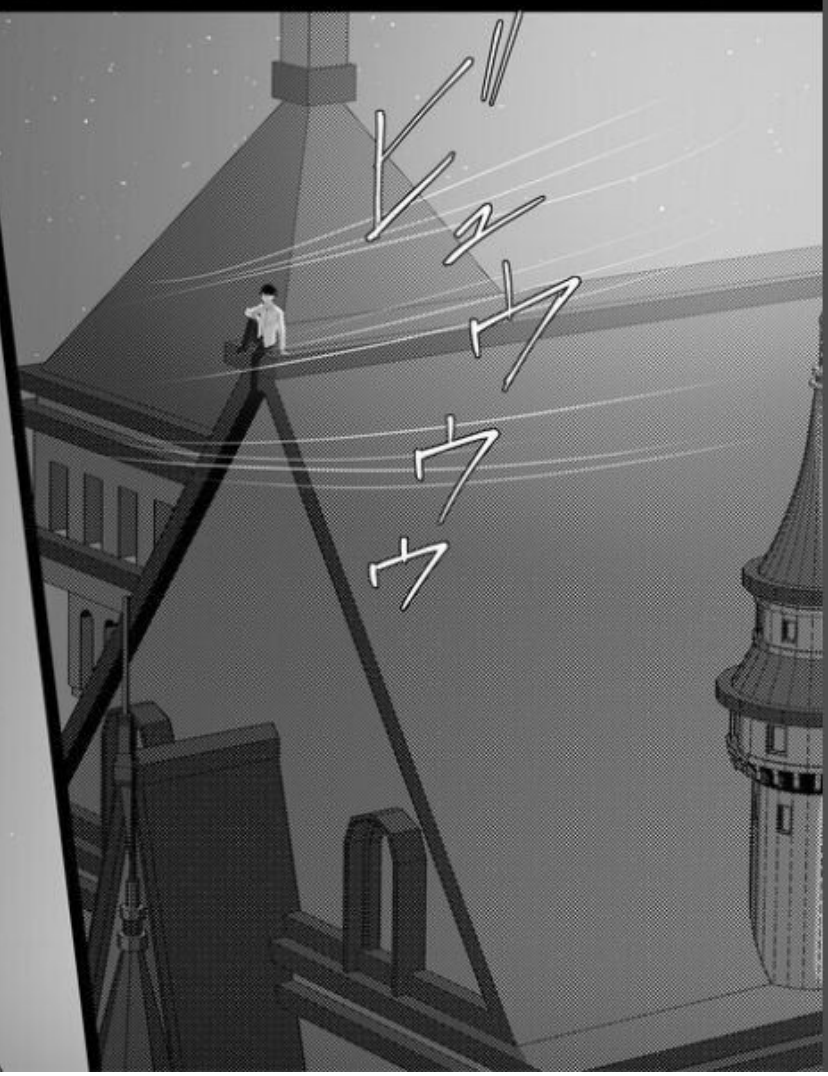
私の心と身体はどんどん
悪魔に堕とされていった……



リバル
君も来たんだね

随分楽しんでる
みたいじゃないか

だけど
君の好きには
させないよ





面白くなりそうだな♪

To Be Continued...

お買い上げ
ありがとうございました!



作者：なすび

サークル：八百屋

悪魔憑き

皇女の執事は

